

★アジア太平洋戦争開戦の日、「12月8日」にこだわっています！

第31回 アジア・フォーラム横浜 証言集会

—戦争が終わった9月、日本軍が起こした「9月5日事件」とは？—

マラッカの街で日本軍が私たちの肉親を襲撃した！

1945年9月に起きたマレー半島の惨劇を知っていますか？

証言者: **呉 麗娟** / **Goh Lay Kuan** さん (シンガポールから来日)

ゴ-レイ クエン

◆1945年9月5日、父は憲兵隊に襲撃され虐殺された



日本の降伏後、マラッカの地元住民指導者たちは、貧しい人々の暮らしの改善を相談していました。それを知った日本軍憲兵隊が襲撃、沖合10キロの小島に連行して暴行、虐殺して、古井戸に放り込んだのです。戦争終結後の9月5日でした。なんとか息のある数人から状況がわかりましたが、その一人が呉麗娟さんの父親です。数日後に息を引き取りました。呉さんが両親から聞き取った状況を語ります。

◆呉さんの父親、林さんの祖父が投げ込まれた井戸▼



講演: **林 少彬** / **Lim Shao Bin** さん (シンガポールから来日)

リム・シャオ・ビン

「9月5日事件の本質を被害者遺族、そして研究者として考える」

日本への留学直前に祖母から「祖父は日本軍に殺された」と聞かされたリムさん、それから祖父・戦争について調べ始め、シンガポールに置かれた731部隊の支隊の岡 9420 部隊の研究を進めます。戦医研で研究報告をされる等、戦争当事者が深めた日本軍の闇を被害者遺族として鋭く暴きます。

コメント: **柏尾安希子** さん (神奈川新聞記者) 「ジャーナリストが見たマレー半島での日本の加害」

呼びかけ人: 高嶋伸欣、林 博史、石山久男、池辺晋一郎、内海愛子、笠原十九司、綾瀬 厚、田中 宏、乗松聡子、前田 朗、孫崎 亨、松村高夫、山田 朗、渡辺賢二 (敬称略・順不同)

後援団体: 記憶の継承を進める神奈川の会



日時: 2024年 **12月7日(土) 13時30分**

(13時00分開場)

場所: **かながわ県民センター2階ホール** (横浜駅西口徒歩5分)

資料代 1000円 (学生以下無料)

問合せ: 080-4536-3505 (吉池)

*念のためマスクの着用など感染症対策をしっかりと願っています。

